

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年6月28日(2012.6.28)

【公開番号】特開2012-482(P2012-482A)

【公開日】平成24年1月5日(2012.1.5)

【年通号数】公開・登録公報2012-001

【出願番号】特願2011-187918(P2011-187918)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月10日(2012.5.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

各々が識別可能な複数種類の識別情報の可変表示を行って表示結果を導出表示する可変表示装置と、前記表示結果をその導出表示以前に決定する表示結果事前決定手段と、を備え、予め定められた特定表示結果が表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態に制御する遊技機であって、

遊技者が操作可能な操作手段と、

前記表示結果事前決定手段を含み、遊技の進行を制御する遊技制御手段と、

該遊技制御手段が送信するコマンドに基づいて、前記可変表示装置の制御を行なう表示制御手段と、を備え、

前記遊技制御手段は、

前記可変表示装置にて識別情報の可変表示を開始してから前記表示結果を導出表示するまでの可変表示時間を決定する可変表示時間決定手段と、

該可変表示時間決定手段によって決定された前記可変表示時間及び前記表示結果事前決定手段の決定結果を特定可能なコマンドを前記表示制御手段に送信するコマンド送信手段と、をさらに含み、

前記表示制御手段は、

前記コマンド送信手段から受信したコマンドに基づいて前記操作手段の操作を条件に予告を実行する予告演出を実行する予告演出実行手段を含み、

前記表示制御手段は、遊技者による前記操作手段の操作タイミングに拘わらず前記可変表示時間決定手段によって決定された前記可変表示時間に達したときに前記表示結果を導出表示し、

前記予告演出実行手段は、前記予告演出を実行する場合に前記コマンド送信手段による前記コマンド送信後の所定期間に亘って設定される有効期間内に前記操作手段が操作されたことに基づいて前記予告を実行する一方、前記有効期間内に前記操作手段が操作されなかったときには前記予告を実行しないものであって、前記有効期間であることを報知することを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、各々が識別可能な複数種類の識別情報（例えば、特別図柄9a～9c）の可変表示を行って表示結果を導出表示する可変表示装置（例えば、可変表示装置8）と、前記表示結果をその導出表示以前に決定する表示結果事前決定手段（例えば、大当たり判定処理、ステップS122）と、を備え、予め定められた特定表示結果（例えば、大当たり図柄）が表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態（例えば、大当たり遊技状態）に制御する遊技機であって、遊技者が操作可能な操作手段（例えば、操作ボタン10）と、前記表示結果事前決定手段を含み、遊技の進行を制御する遊技制御手段（例えば、CPU56）と、該遊技制御手段が送信するコマンドに基づいて、前記可変表示装置の制御を行なう表示制御手段（例えば、演出制御用CPU111）と、を備え、前記遊技制御手段は、前記可変表示装置にて識別情報の可変表示を開始してから前記表示結果を導出表示するまでの可変表示時間を決定する可変表示時間決定手段（例えば、ステップS302）と、該可変表示時間決定手段によって決定された前記可変表示時間及び前記表示結果事前決定手段の決定結果を特定可能なコマンド（変動パターンコマンド、特別図柄指定コマンド）を前記表示制御手段に送信するコマンド送信手段（例えば、演出制御用CPU111のコマンドセット処理を実行する部分；ステップS155）と、をさらに含み、前記表示制御手段は、前記コマンド送信手段から受信したコマンドに基づいて前記操作手段の操作を条件に予告を実行する予告演出を実行する予告演出実行手段（例えば、演出制御用CPU111のCPU56からの予告時変動パターンコマンドを受信したことに基づいて予告選択演出を実行する機能）を含み、前記表示制御手段は、遊技者による前記操作手段の操作タイミングに拘わらず前記可変表示時間決定手段によって決定された前記可変表示時間に達したときに前記表示結果を導出表示し、前記予告演出実行手段は、前記予告演出を実行する場合に前記コマンド送信手段による前記コマンド送信後の所定期間に亘って設定される有効期間内に前記操作手段が操作されたことに基づいて前記予告を実行する一方、前記有効期間内に前記操作手段が操作されなかったときには前記予告を実行しないものであって、前記有効期間であることを報知することを特徴とする。

このように構成することにより、遊技者が操作手段を操作したことに基づいて予告が実行されるため、予告が実行されていることを容易に認識でき、遊技者の予告に対する興趣を向上させることができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 7】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 1 9
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 8】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 1
【補正方法】削除
【補正の内容】
【手続補正 9】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】0 0 2 2
【補正方法】削除
【補正の内容】